

会 議 録

1 会議の名称 令和7年度第1回社会教育委員会議

2 会議の日時 令和7年5月15日（木） 午前10時から 午前11時20分まで

3 開催場所 川根本町役場 総合支所 2階 会議室

4 出席した者の氏名

(1) 委員

西田 稔委員、濱谷 友子委員、山下 慎吾委員、山本 正和委員、杉山 広充委員  
桑原 克之委員、岡本 彰彦委員

(2) 執行機関 （事務局）教育長 石原一則、社会教育課 課長 向島裕人、主幹 平松敏浩  
文化会館主幹 梶山正幸、海洋センター所長 中村慎

5 議題

- (1) 令和7年度社会教育事業の概要について
- (2) 社会教育委員連絡協議会（榛原地区他）について
- (3) その他

6 会議資料の名称

令和7年度社会教育委員会資料（事業計画及び事業報告ほか）

7 発言の内容

【開会】

【教育長あいさつ】

昨年8月21日に教育長に就任し、9月に川根本町大綱を制定した。

教育大綱は町の教育について3年間の計画を示すもの。

その中で社会教育に関する事で、3つの計画が示されている

一つ目は、地域コミュニティの推進の基盤を支えるのが社会教育事業である。

二つ目は、多様な学びや表現をできる場所の推進。

三つ目は、ふるさと愛の醸成。

積極的な社会参加がなぜ必要か⇒文化や伝統を守る⇒すべて愛や誇りを感じる。

愛や誇りを感じなければ、守っていこうという気持ちにはならない。

例）大井川鐵道を守ろうという動きもふるさとを守る愛からくるものである。

伝統文化を守り育てる、皆で守り育てることもふるさと愛である。

社会教育が昨年度行ってきたこと、今年度やろうとしていることはすべて、この3つに基づいていため、御審議をお願いしたい。

【旧勝山委員長あいさつ】

お知らせしたい事が3つある。

- 1 令和10年に関東ブロック10都県が静岡県で開催される。同時に全国大会が開催される。静岡県社会教育連絡協議会が大変であることを知っておいていただきたい。
- 2 教育の目的。基本法第1条 人格の完成  
社会教育の基本は 人と人が交わること。「自主性・自発性・豊かな人間性の形成」  
社会とのつながりが大切。
- 3 榛原地区の社会教育の大会について（繋がりをもつ）

【委嘱状交付】

教育長から、一人ずつ手渡し。

【委員長・副委員長選任】

事務局案

委員長「山下慎吾氏」副委員長「中野重男氏」

承認。

【山下委員長あいさつ】

先ほど、石原教育長及び前任の会長のあいさつでもあったとおり、社会教育の務めは大切なものである。学びを通してその人の人生が充実していくように、また、社会教育委員については、「社会」という名前がついている。町の人口も年々人が減っているが、人と人とのつながりが、今後ますます大切になる。

委員長の任務を皆さんの協力をいただき果たしたいと考える。

【協議事項】（進行：山下委員長）

（1） 令和7年度社会教育事業の概要について

事務局より、款項目順・部署別に事業計画について説明。（資料に沿って説明）

〔説明した主な事業〕

放課後子供教室、図書推進事業、移動図書館車ルート変更、生涯学習推進事業、生涯学習活動派遣事業、資料館やまびこ運営事業、文化会館運営費、伝統文化伝承館管理運営費、B & G海洋センター事業、カヌー振興事業、社会体育施設整備事業、市町対抗駅伝競走大会参加事業、体育施設費、はたちの集い等

（委員）昨年度の委員会で、移動図書館車やまびこ号の話が出たと思うが、その後対応されたような具体的な動きはあったか。

（事務局）昨年度12月頃から、コースを変更して改善を行うとともに、利用面でも図書館職員が工夫しながら利用しやすい環境づくりを行い、結果として利用者増にも繋がっている。

（委員）移動図書館の利用が少ないと感じる。今後、何らかの対応や検討が必要と感じる。

（事務局）検討する。

（委員）事業を実施するに当たって、事業間の移動手段が懸念される。例をあげると生涯スポーツ推進協働パートナー事業などは別の事業費などを使用して高齢者の送迎などを行っているが、児童クラブは2箇所で行っていて、ハイエース1台では対応ができず、事業をあきらめている状況である。事業間で多くの人が参加できるよう、有効にお金を使ってほしい。公用車の利用など町民が参加しやすいよう移動手段を検討していきたい。

（事務局）検討する。

（委員）令和6年度海洋センター運営事業で修繕などがあるが残りは電気代などであるか。

（事務局）職員人件費も含まれている。

(委員) 資料館やまびこで実施した研修は非常に良かった。対応した職員も丁寧でよかった。年間 2,000 人程度入っている。(平均 1 日 7 人)

町内外への P R が必要と感じる。もっと活用を。

(事務局) P R を検討する。

(委員) 川根高校インターハイ 5 種目で全国に出場。様々な事業を実施した後アンケートを取っているか。

(事務局) 文化会館の事業などは毎回アンケートを取り、次年度事業の参考にしている。

(委員) 取っていれば、次年度事業でこのようなアンケート結果により計画を立てたなどの理由が付くのではと思う。

(事務局) アンケートについて検討していく。

(他に質疑等なし)

## (2) 社会教育委員連絡協議会研修会について

事務局より、榛原地区、中部地区及び静岡県の社会教育委員会研修会事業報告について説明。

[主な説明内容]

(榛原地区) 研修会

(中部地区) 合同研修会

(静岡県) 関東甲信越静研究大会  
研修会

事務局より、榛原地区、中部地区及び静岡県の社会教育委員会研修会事業計画について説明。

[主な説明内容]

- ・榛原地区の構成市町と事務局(川根本町: 令和 7 年度・8 年度)
- ・中部地区の構成市町と事務局(御前崎市: 令和 7 年度・8 年度)
- ・榛原地区及び中部地区の総会
- ・静岡県の連絡協議会の理事会、総会、関東甲信越静研究大会

(質疑等なし)

【閉会】

令和 7 年 5 月 15 日

上記に相違ないことを確認する。

川根本町社会教育委員会 委員長 山下 慎吾